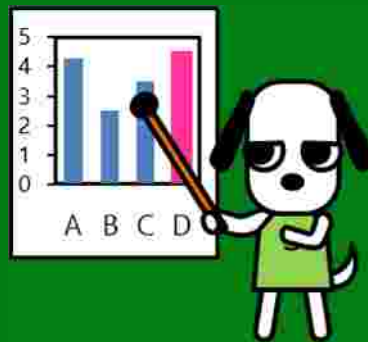


# データで読み解くせたがや

## <開催にあたって>



# 開催趣旨

世田谷区では昭和55年の基本構想より「参加のまちづくり」を目指し、参加を保障するためにデータ集を公表するなど、当時としては先進的なデータ活用を行っていた。

現在、DX推進方針に基づき、オープンデータの見直しなどデータの活用を捉えなおす取組みが始まっている。地域行政推進条例も施行され、これからの世田谷区には身近な地域の未来を住民とともに考えるためのデータ整備が求められているのではないか。

このような背景のもと、せたがや自治政策研究所では区民参加のまちづくりを掲げる世田谷区において、「今」を把握し「未来」を予測するためのデータについて考える場として研究報告会を企画した。

開催にあたっては「開かれた研究所」を目指すため、区民と区職員とともに考える場となるよう区民公開で実施する。

# 当日のプログラム

開演前

ポスターセッション（開演時間まで会場内で実施）

1

特別講演「社会空間分析でみる東京圏の中の世田谷区」  
浅川達人氏

2

せたがや自治政策研究所の研究発表  
せたがや自治政策研究所主任研究員、特別研究員

3

ディスカッション  
コメンテーター、コーディネーターほか登壇者全員

4

ポスターセッション 参加者と研究員との対話による意見交換  
せたがや自治政策研究所主任研究員、特別研究員

5

閉会

# 1. 特別講演(資料2)

社会空間構造分析の第一人者である浅川達人先生をお招きし、国勢調査等の公的統計データ分析をもとに、社会空間構造分析により戦後の東京圏の中で世田谷区がどう発展してきたかについてご講演いただきます。

## 浅川 達人氏プロフィール



早稲田大学人間科学学術院教授

せたがや自治政策研究所政策研究員

専門:都市社会学(日本都市社会学会会長)、社会調査(専門社会調査士)

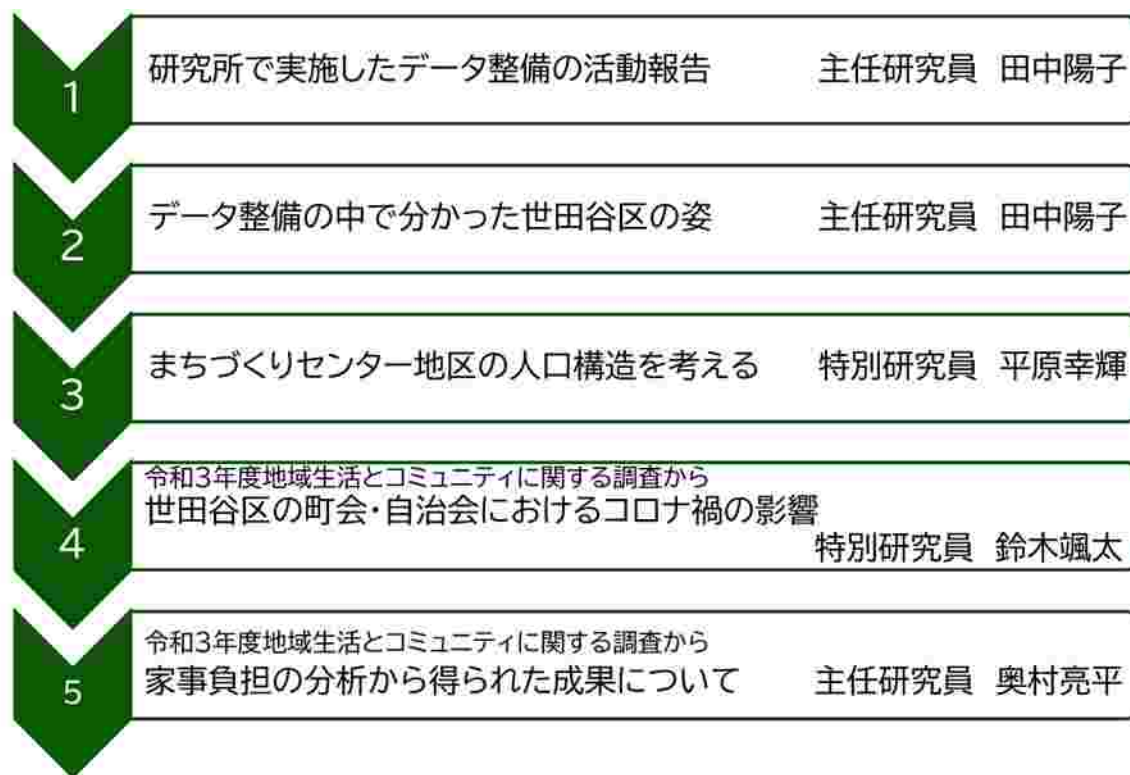
主な著作『都市を観る 社会地図で可視化した都市社会の構造』(単著)、

『都市空間と格差社会』(編著)ほか

## 2. 研究報告(資料3)

令和5年度に実施した調査研究のうち、「せたがやの今と未来を考えるためのデータ」をキーワードに研究報告を行います。

整備しているデータを紹介することで、区の状況を概括し、せたがやに暮らす人々がどのように思い感じているのかを読み解くためのヒントとして今年度の研究結果を報告します。



# 3 ディスカッション

4名のコメントーターと発表者との議論を通じて、まちの未来を考えるデータを整備するためにせたがや自治政策研究所ができることについて考えます。

	氏名	肩書
コメントーター	伊藤 雅春 氏	NPO法人玉川まちづくりハウス運営委員長 コミュニティ政策学会理事
コメントーター	祐成 保志 氏	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
コメントーター	松井 望 氏	東京都立大学都市環境学部教授
コメントーター	保坂 展人	世田谷区長
コーディネーター	大杉 覚	せたがや自治政策研究所 所長 東京都立大学法学部教授

# 4 ポスターセッション(資料4)

参加者との対話による意見交換のため、ポスターセッションを実施します。会場後方に貼られたポスターの前に研究員が立っておりますので、ぜひ意見を聞かせてください。

【特にお話ししたいこと】

1. 発表内容やポスターに対する質疑
2. どのようなデータがあったら地域の未来について考えやすいかの意見交換